

2月1日
SUN.

第30回

ヨコハマ

映画ファンのための熱いまつり



映画祭

関内ホール(大ホール)
入場料 <前売>2,500円
<当日>2,800円
●自由定員制

ハマの冬の風物詩、ヨコハマ映画祭の季節が参りました。
ヨコハマ映画祭も遂に30年目。ここまで続けられたのも、皆様のご支援の賜物です。
2008年の日本映画は秀作・傑作・快作のオンパレードで、豊年満作。その成果と共に、30年目のヨコハマ映画祭は熱く盛り上がります。
映画祭のクライマックスは、2008年に最高に輝いた映画人がズラリと揃う個人賞表彰式。
映画上映は、作品賞など4冠の「おくりびと」(滝田洋二郎監督)に加え、主演女優賞など2冠の「接吻」(万田邦敏監督)、主演・助演男優賞受賞の「休暇」(門井肇監督)の3秀作。
絶対の自信を持ってすべての映画ファンにお贈りします。
2月1日は映画ファンのための「映画の日」、横浜・関内ホールへ集合！

●プログラム

10:30AM 開場

11:00AM 「接吻」(108分)

(ベストテン6位 脚本賞、主演女優賞)
監督=万田邦敏 脚本=万田珠実・万田邦敏
撮影=渡部真(JSC) 出演=小池栄子、豊川悦司、仲村トオル、篠田三郎

俊才・万田邦敏監督が遂にヨコハマ初見参！ 万田監督にとって長編劇映画3作目となる本作は、小池栄子、豊川悦司、仲村トオルによる競演が話題を呼び、衝撃のサスペンス・ドラマとして08年の映画シーンを大きく揺るがせた。本来なら会はずもなかった男女三人の“異形の愛”を、内面の激情を抑えた演技で一瞬の弛みもなく描きつくす。このオリジナル脚本に見る完璧なパフォーマンスは、世界水準を突き抜けており、この映画的な昂奮は当分鎮まりそうもない。

1:15PM 最新作PRコーナー
予告篇上映とスタッフ、キャストの舞台挨拶

2:00PM **個人賞表彰式** 各賞受賞者のほかゲスト多数予定

4:00PM 「休暇」(115分)

(ベストテン10位 主演男優賞、助演男優賞)
監督=門井肇 原作=吉村昭 脚本=佐向大
撮影=沖村志宏 出演=小林薫、西島秀俊、大塚寧々、柏原収史、菅田俊、大杉漣

今回の主演男優賞、助演男優賞受賞はダテではない。死刑制度へのアプローチという重いテーマを内包しながらもそれが上滑りせず、映画的魅力が満載した秀作となったのは、小林薫、西島秀俊の受賞コンビに加え、大杉漣、菅田俊、大塚寧々など多彩なクセ者俳優陣の渾身の力業と、それを見事に操り自在に使いこなした門井肇という若き才腕の演出力によるところ大だ。この出色の人間ドラマ、裁判員制度が始まろうとしている今こそ必見！と言いつくろ。

6:10PM 「おくりびと」(130分)

(作品賞、監督賞、助演女優賞、計4冠受賞)
監督=滝田洋二郎 脚本=小山薫堂
撮影=浜田毅(JSC) 音楽=久石譲 出演=本木雅弘、広末涼子、余貴美子、吉行和子、笹野高史、山崎努

2008年という年の日本映画は秀作・傑作揃いで、映画ファンは嬉しい悲鳴の連続だったが、そんな中でも「おくりびと」の素晴らしさは群を抜いた。納棺師というあまり知られていない職業にスポットを当て、“死”を見据えることで“生”の貴重な意味合いを鮮やかに炙り出し、人間の生命の尊厳を浮かび上がらせる。精緻な脚本、抑制の効いた演出、適切で美しいカメラワーク、俳優陣の鮮やかな演技と所作……どれを取っても超一級の出来栄で、こんな珠玉作を生み出せる日本映画を心から誇りたい。

(8:20PM頃終演予定)

《2008年度日本映画各賞》

- 作品賞 **「おくりびと」**
滝田洋二郎監督作品
監督 滝田洋二郎、脚本 小山薫堂、撮影 浜田毅(JSC)、音楽 久石譲出演 本木雅弘、広末涼子、山崎努、余貴美子、杉本哲太、峰岸徹、笹野高史
制作プロダクション:セディックインターナショナル 配給:松竹
- 監督賞 **滝田洋二郎** (「おくりびと」)
- 新人監督賞 **森 義隆** (「ひゃくはち」)
- 脚本賞 **万田邦敏** (「接吻」)
万田珠実
- 撮影賞 **芦澤明子** (「きみの友だち」「トウキョウソナタ」「しあわせのかおり」)
- 主演男優賞 **小林 薫** (「休暇」「歓喜の歌」)
- 主演女優賞 **小池 栄子** (「接吻」)
- 助演男優賞 **西島 秀俊** (「休暇」「丘を越えて」「東南角部屋二階の女」)
- 助演女優賞 **余貴美子** (「おくりびと」「丘を越えて」「まぼろしの邪馬台国」)
- 最優秀新人賞 **広末涼子** (「おくりびと」)
月船さらら (「世界で一番美しい夜」)
仲里依紗 (「純喫茶磯辺」)
石橋杏奈 (「きみの友だち」)
- 審査員特別賞 **「ひゃくはち」**(澁淵として素敵な横浜映画の誕生に)

《2008年度日本映画ベストテン》

- 第1位 「おくりびと」(滝田洋二郎監督)
- 第2位 「ぐるりのこと。」(橋口亮輔監督)
- 第3位 「歩いてても歩いてても」(是枝裕和監督)
- 第4位 「闇の子供たち」(阪本順治監督)
- 第5位 「実録・連合赤軍 あさま山荘への道程」(若松孝二監督)
- 第6位 「接吻」(万田邦敏監督)
- 第7位 「トウキョウソナタ」(黒沢清監督)
- 第8位 「クライマーズ・ハイ」(原田真人監督)
- 第9位 「きみの友だち」(廣木隆一監督)
- 第10位 「休暇」(門井肇監督)
- 次点 「百万円と苦虫女」(タナダユキ監督)



※写真・映像撮影及び撮影・録音機材の持ち込みは、固くお断りします。